



会報

DISTRICT 253

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



いろり

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会長 鈴木 弥一郎
幹事 中江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 885 号 1976. 12. 14 (火) (くもり) No.20

— 本日のプログラム —

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (それこそロータリー)
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 12月12日お亡くなりなられました、前当ロータリー会員の今間壮太郎氏に
哀悼の黙禱を捧げご冥福をお祈り申し上げます
5. 会長報告
6. 幹事報告
7. 退院ご挨拶～菅健君
清水重雄君お見舞に対するお礼の言葉がありました
御全快おめでとうございませう。これからも御健康に御留意下さい。
8. 次期役員選挙結果発表～上野三郎指名委員長
9. 地区ロータリー情報研究会報告～鈴木弥一郎会長
10. 新年鱈汁家族会の概略予告～丹下誠四郎君
楽しい計画があります。出来るだけ多くの方の御参加をお願い致します
11. 出席報告

■ゲスト・ビジター紹介

佐藤拡君、上野十九治君、小林忠康君—鶴岡西 R・C

■会長報告

当クラブの名誉会員であります金井勝助氏が秋の叙勲で勲三等瑞宝章を受けられました
幅広い数々の御功績誠におめでとうございました。

■幹事報告

- ① 庄内分区 I・C・G・F は 3 月 21 日 (月) 八幡 R・C で行われます。
- ② 会報到着案内～本荘、新庄、東京、藤沢
- ③ 茅ヶ崎湘南 R・C が茅ヶ崎 R・C をスポンサーとして創立され 10 月 26 日 R・I の承認を
得た。(伝達式は来年 5 月 21 日予定)
例会日～毎水曜日 12:30 会場～茅ヶ崎フィッシュセンター
- ④ 例会変更
 - 鶴岡西 R・C ～ 12 月 24 日の例会は Xmas 家族会のため P.M5:30 産業会館 5 F 登録料
～@ 4,000 尚、12 月 31 日の例会は 12 月 29 日にくり上げて行う。
 - 山形南 R・C ～ 12 月 21 日は P.M5:30 山交ビル 7 F 12 月 28 日は 12 月 24 日 (金) にくり
上げ 1 月 4 日は 1 月 7 日 (金) に夫々変更して行われる。
 - 新庄 R・C ～ 12 月 10 日は Xmas パーティーのため P.M6:00 つたや本店で行われる。
 - 立川 R・C ～ 12 月 23 日は忘年会のため P.M6:30 庄内ドライブインで
登録料 @ 2,000 12 月 30 日の例会は 12 月 27 日 (月) に変更
 - 酒田 R・C ～ 12 月 29 日を 12 月 25 日 (土) P.M5:00 酒田産業会館 3 F
登録料 @ 2,000
 - 八幡 R・C ～ 12 月 18 日は Xmas 家族会のため 12 月 19 日 (日) P.M5:30 一条公民館で
登録料 @ 3,000
- ⑤ 財団寄付募金結果～総額 127,000 円は早速送金致します。

■次期役員選挙結果発表 上野三郎指名委員長

会 長	上 野 三 郎 君	理 事	内 山 喜 一 君
副 会 長	三 井 健 君		板 垣 広 志 君
幹 事	佐 藤 順 治 君		佐 藤 忠 君
会 計	高 橋 耕 二 君		石 井 敬 三 君
			鈴 木 弥 一 郎 君

次期副会長会長エレクト受諾挨拶～三井健君任期になりましたら皆様の御協力で出来る
だけの事は致したいとの御挨拶がありました。

■地区ロータリー情報研究会報告 鈴木弥一郎会長

先程会長報告で申し上げましたロータリー情報研究会について御報告申し上げます。先
ずは平松ガバナーの御挨拶がありました。が、本年度 R・I 会長は奉仕特に職業奉仕につい
て強調され、其の実行を求められました。

職業奉仕はロータリアンが一人一人行うものであり、各ロータリアン個人の奉仕活動で
あります。従って、私達が自己の職業を通じて社会その他に奉仕することであり、即ち奉
仕の心、ロータリーの心を以て職業に生きて行く事だと思えます。

次に「職業に品位あらしめる」ことです。皆さんの有用な職業が人々から尊敬され感謝
される様でなければならぬと職業の倫理について御話がありました。

次いで榎戸カウンセラーの解説で最初は「ロータリークラブ会員の増強」についてのス
ライドを交えた御話でした。会員増強についてのお話で先づロータリークラブに於て会員
増強は何のために必要であるか云う問題でロータリーで一番大切なのは会員であり、
ロータリーの発展の為に会員の増強は大変重要な事であり、先づクラブ会員が無関心で
あっては其の目的を果たす事が出来ない。

其の第一着手として会員増強について今までの慣習のように会員増強委員会だけに頼らず、また会員個々の推薦にまかせず。クラブ全体として基本的な増強方針を決定し真剣に此の問題に取りくむべきである。具体的には関連委員会例えばプログラム委員会、ロータリー情報、会員選考委員会等と密接なる連携を保ち又職業分類委員会の職業分類の充填。未充填の考察は会員増強の基本であると思うので充分活用し、クラブの実体を見極め乍ら努力し将来の会員組織設計を考えて欲しい。

質問には一クラブ会員数の限度についてと云うのがありましたが、此れには地区の実状を勘案し、クラブ運営を重点にして会員の増強を考えて欲しい。目標として平松ガバナーは10%増と云うことを基本に示されました。

「あなたのクラブの為のよりよいロータリー情報」

ロータリー情報活動は先づ年度始めに確りした年次計画を樹てる事は勿論、特別プログラム、情報の提供、炉辺談話、情報記録等を織り交ぜロータリー精神の認識を深める様にすること又新会員の教育については入会前に予め、ロータリーの目的について説明して置くことが必要である。クラブ協議会等には新会員の方々の参加を呼びかけ成るだけ早くロータリーについて精通してもらう様にし全会員を活動的にしむける様にすることが使命である。

又ロータリー情報には最少3名の委員を当て一年委員、二年委員としてロータリー情報活動について精通する事であります。(ロータリー情報の活動についてのスライド説明ありました。)

< R・I 第353D ロータリー情報研究会「世界社会奉仕部門」報告 >

世界社会奉仕委員長 安藤定助

テーマ 「より効果的な世界社会奉仕」 カウンセラー352D パストガバナー 榎戸由縁君

1. スライド「世界社会奉仕」上映
いろいろな世界社会奉仕の事例を纏められたスライドで「世界社会奉仕」を理解するに役立った。
2. 各 R・C は可能な範囲に「世界社会奉仕委員会」を編成し、取り組むことが望ましいと奨励された。
3. 「世界社会奉仕」に取り組むには次の道がある。
 - ① 「R・I 世界社会奉仕計画資料室」計画資料 No.11 (WCS プロジェクトライブラリー) を利用し、クラブに適したものを選択し取り組む。
 - ② 海外に姉妹クラブのある R・C は、相互の文通、交流によって相手の R・C 或は地域の援助を必要とする問題を深め取り組む。
 - ③ 会員の海外旅行の際、その訪問国或は地域に問題点を探り取り組む。
4. 実施に当っては次の2点に留意する必要がある。
 - ① よく相手の事情を調査する。
例えば税関、国の規則、貨幣事情、ルート、要望の内容等受ける側の身になって(数年前援助資金200万円を贈ったが次第に金額が減少し遂にどこに届いたか判らない例あり)
 - ② その効果を見守る
5. 第353Dにはその道のベテラン佐瀬巨世界社会奉仕委員長が居られ、既に年度頭初詳細余すところない資料を各 R・C に配布しておられるので、各 R・C はそれを参考にして取り組まれない。
6. 諮問に対するテーブル毎のグループ研究が行われた。
 - 第1問 何故世界社会奉仕が必要か?
その必要は普通のロータリアンに認められているか?
 - 第2問 われわれのクラブが……会員だけでなく一般社会の人々にも参加させて……世界社会奉仕の目的を達成させるためにはどんな内容の事業計画がよいか。

<ロータリークラブ会員の増強>

ロータリー情報研究会 (鶴岡ロータリークラブの解答)

下記の評価方式を用いてあなたのクラブの強点と弱点を見出して下さい。

- 1 ……平均以上 2 ……平均
3 ……平均以下 4 ……皆無

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. クラブの会員は大体皆、正会員及びアディショナル正会員の双方の新会員推薦の方法を知っている。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 2. クラブ会員の大多数が新会員候補者を探し、推薦することは会員としてのつとめであることを自覚している。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 3. 全クラブ会員は奉仕の精神、有し、指導者となる資格を具備した若手の会員を「探し求める」ように奨励されている。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 4. クラブ全体、並びにクラブ理事会はクラブの会員増減の傾向について定期的に報告を受けている。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 5. クラブの充填及び未充填職業分類名簿は常に現状に一致するように改訂されている。未充填職業分類は開放され、定期的に全クラブ会員へ通告されている。 | 1 | 2 | ③ | 4 |
| 6. シニア・アクティブ会員となった会員の空席職業分類は迅速に充填されている。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 7. 新会員の入会手続は推奨手続に従って迅速に考慮されている | 1 | ② | 3 | 4 |
| 8. クラブ会員の大多数はクラブで優秀な奉仕活動を実行しているのでロータリーを他の人々と分かち合うことを動機づけられている。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 9. 各新会員はスポンサー会員の協力と活動や親睦に加わることで充実したロータリー情報の提供を得て非常に良いロータリー生活のスタートをしている。 | 1 | ② | 3 | 4 |
| 10. クラブ会員の大多数は会員資格を特典や地位でなく、ロータリーの精神とその実践に結びつけて誇りにしている。 | ① | 2 | 3 | 4 |

最後にロータリー財団への参加というテーマがありました。

第1問 ロータリー財団への寄付金を募るのに、どんな効果的な方法があるでしょう。

第2問 現在われわれの地区に留学中の財団奨学生、並びに当地区へ帰省した奨学生たちを私達は有効に起用しているでしょうか？

もし起用していないと思われる場合は、どうすればこの点を改善することが出来るでしょうか？

ような設問でした。

■出席報告

本出 日の席	会員数	72名	欠 席 者	阿部(公)君、玉城君、風間君、黒谷君、小池君、石倉君、三井(徹)君、小野寺君、佐藤(年)君、佐藤(昇)君、佐藤(衛)君、佐藤(正)君、鷺田君、笹原君、内山君、津田君、藪田君、中村君
	出席数	53名		
	出席率	73.61%		
前出 回の席	前回出席率	75.00%	メ ア ッ ク ブ	斎藤(栄)君—郡山東R・C 阿部(公)君、板垣(俊)君、板垣(広)君、上林、黒谷君、佐藤(友)君、新穂君、内山君、山本君—鶴岡西R・C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	88.89%		

<会報委員会よりお願い>

- ・ 毎回会員各位にお願いしているように、スピーチ等の場合、原稿又は要旨(簡条書きでも可)を提出して頂くと、省力化が計れますので、御協力下さい。
- ・ 各委員会の委員長の皆さん!! 委員会報告用紙がありますので、御利用下さい。
- ・ 原稿、要旨、報告事項はスピーチ等終了後、直ちに会報委員にお渡し下さい。
- ・ 写真は印刷の関係上なるべく白黒でお願いします。